

令和元年度北海道希少野生動植物種保護対策検討有識者会議  
昆虫専門部会 開催結果概要

1 開催日時

令和元年8月9日（金）

午後1時0分頃から午後2時15分頃までの間

2 場所

北海道庁塔屋 環境生活部1号会議室

3 出席者

出席者名簿のとおり

（秋元構成員、伊藤構成員及び吉澤構成員は欠席）

4 内容

(1) 北海道レッドリスト改訂に係る検討経過等について

チョウ目及びコウチュウ目のレッドリスト改訂に係る経過、今回の体制及びスケジュール案等について事務局から説明。構成員からの意見等はなし。

(2) 種・亜種目録案、チェックシートについて

種・亜種目録案、チェックシート及び記載方法等について事務局から説明。  
説明後の次のとおり意見交換を行った。

（意見交換概要）

- ・ 今回の対象目はいずれも定量評価は困難であるため定性評価が相当。
- ・ 直翅類に関しては、2016年発行の日本産直翅類標準図鑑が文献としては最新。直翅目近縁（ナナフシ、ハサミムシ、ゴキブリ、シロアリ、カマキリ、ガロアムシ）も掲載されている。
- ・ 同一カテゴリー内で複数の要件に該当させることは可能か。  
→ 差し支えない。（事務局）
- ・ ランクを下げる場合、理由付けは必要か。  
→ どのような理由でランクを下げたかを明らかにしてほしい。（事務局）
- ・ 偶産種はレッドリストに掲載するか。  
→ 偶産種は除外する。（事務局）

(3) 北海道レッドリスト改訂に係る検討体制について

評価対象目毎の担当者について事務局から説明。

評価担当者が決まっていない目について、有識者の推薦があったため、別途、目録案の確認、対象種の評価について依頼を行うこととなった。

(4) その他

予定していた議事の終了後、次のとおり意見交換を行った。

(意見交換概要)

- ・ 目録案のベースは何か。
  - 平成25年に委託で行った文献調査で作成したものである。(事務局)
- ・ カメムシ目はどう分担するか。
  - カメムシ亜目、頸吻亜目、腹吻亜目（アブラムシ）で分担。  
腹吻亜目のうち、カイガラムシ、キジラミの評価担当者がいないため、有識者を調べ、別途、評価を依頼することとなった。
- ・ 学名がついていない地域個体群については、次回の部会開催前に発表予定の学会誌論文上の和名、学名を採用する。